

# 南高 同窓会会報

発行所  
四日市市大字日永字岡山  
三重県立四日市南高等学校  
同窓会  
TEL.059-345-3177  
www.4nan.jp/dousou/



会長 柏谷邦男

## ご挨拶

同窓生の皆様には、ご健勝で益々のご活躍を心よりお慶び申し上げます。また、日頃より本会にご理解、ご支援を頂き、深く感謝申し上げます。

わが四日市南高校も創立五十五年を超え、歴史と栄光が着々と刻み込まれています。二万人もの同輩が登城ヶ丘を巣立ちされ、国内外で活躍されている事、誠に誇りであり、自慢するところです。そして、それぞれの人生が全て幸福でありますようお願いいたします。

今春、何年かぶりで京都岩船寺、浄瑠璃寺の里山を歩きました。紫陽花はまだでしたが、馬酔木の花が私を出迎えてくれました。静寂の中、鎮座される仏様たちは、堂々と揺るぎなく、昔同様ずっと微笑

むお姿でした。小生の心の乱れを察知されたのか、その表情には変化がありません。現実の日常の希薄さ、小心者の未熟さに「喝」をいただき、心洗われました。寺を離れる時には、何とゆつたりと満たされた心と足取りに、気持ち良く家路につきました。

「同窓会」を考えますと、昨今、不条理で心ない行動が多々あり、「同窓会名簿」の作成をここ十数年取りやめてまいりました。個人情報問題の世相観では当然でしたが、わが同窓会を意義あるものにと、今一度考え直し、昨年の総会にて同窓会名簿作成の再開を決めました。そして今年、全国的に信頼のある(株)サラトに依頼し、準備を進めています。同窓会の意義をご考慮頂き、ぜひご協力をお願い申し上げます。

この「同窓会名簿」が同窓会並びに、四日市南高校の発展に貢献しうるこそが、我々の本望であり、登城ヶ丘での絆ある深交が長く刻まれることを祈ってやみません。

平成二十六年 夏



学校長 田中真司

## ご挨拶

同窓会員の皆様には、母校のために平素より多大のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本校は昭和三四年に創立、本年度で五六年目を迎え、20,063

人の卒業生の方を輩出しております。この「登城ヶ丘」は、昔も今も青春の息吹が満ち溢れ、在校生は今日も、「桜坂」や「みんなみ階段」を上り、元気に明るく登校してきます。

生徒の皆さんは勉強や部活動に非常に真摯に取り組み、南高は早朝から放課後まで活気に満ち溢れています。学校行事も非常に盛り上がるとともに、本年度は、箏曲部の全国高校総合文化祭連続出場をはじめ、運動部・文化部とも県内上位入賞の活躍をしております。また、去る三月に甲子園球場で開催された選抜高校野球大会開会式で、全日本学生音楽コンクールで優勝した南高卒業生が国歌を独唱し、全国に放映されました。困難にもめげず、新しい道を切り拓く南高生の持つている能力と努力に

は素晴らしいものがあり、若人のエネルギーを日々感じているところです。

少子高齢化、グローバル化のもと、日本の厳しい未来像を予想する向きもありますが、南高には校歌二番にあります「誇りを胸に」スピリッツがあります。「この国はわれらがひらく、ふるさとの誇りを胸に」の気概は、在校生にもつながる南高山脈に受け継がれ、今後この「登城ヶ丘」で連綿と育まれていくことでしょう。

ところで、昨年の同窓会総会には、一期生の方もお元気に参加されました。「本校開校当初には伊勢湾台風も襲来し、生徒も総出で復旧作業をしたこと。グラウンドは荒地で、これも全校で草を抜き小石を拾い、砂を入れて整地したこと。」など、学校を生徒・職員全員で盛り立ててきた当時のお話をお聴きしました。現代はモノや情報が満ち溢れています。皆で分かち合って「生きてきた時代を忘れてはなりません。いつの時代にも社会や歴史をリードしようとする人には、「生きる痛みを分かち合える」徳高き、豊かな人間性が求められます。

「豊かな人間性を育てることを基本に据え、生徒の可能性を引き出し、学力の伸長と進路希望の実現を図る」本校学校像を実現すべ

く、国を拓き、社会貢献できる人材育成を目指し、教職員一同尽力していく所存です。どうか諸先輩方の変わらぬご理解、ご支援のほどをお願いいたしますとともに、同窓会のご発展を心より祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

【追記】近鉄内部・八王子線存続決定のために、皆様方の絶大なるご支援を戴きありがとうございます。通学手段確保・防災等における地域連携の取組は、「MIE職員力アワード奨励賞」を受賞し、高く評価されました。地元では「登城山ウォーキングロード構想」等もあり、鉄道利用を促進する企画について話し合われています。引き続きご支援賜りますとともに、ぜひ来年四月発足の「あすなろ鉄道」のご利用もお願い致します。



# OB講演会

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

平成26年7月9日

**四日市商業高校校長  
ガイダンスカウンセラー  
水谷久康(12期)**



「このころは目にみえるものではない」

心理学では脳科学や統計学などを利用しながら研究が進められています。講演では人間のこのころと脳の密接な関係にあることを具体例を交えながら体験し「脳はここをだます」こと「このころは脳をだますこと」を知りました。また「騙された脳が体を操る」ということを知り、試合や試験での実力の発揮する考え方やリラックスする方法を教えてくださいました。

講演の後半では、心理学を学ぶの進路としてスクールカウンセラーや心理士、広告代理店など具体的な職業を学ぶ貴重な機会になりました。

**日本旅行株式会社  
四日市営業所営業課長  
曾根尚次(26期)**



「旅行するなら航空機派？列車派？」「伊勢海老派？松阪牛派？」など、多くの二択から始まったご講演に、生徒たちは楽しみながら引き込まれていきました。これらも旅の要素であり、他にも、いい旅を作るためにはさまざまな観点から考えることが必要だそうです。お仕事では、①相手の気持ちを伺うこと、②工夫して提案すること、③振り返ること、を大切にされているとのことでした。

大学選択などご自身の高校時代のお話、そして大学生はやりたいうことなどからお話いただき、生徒たちは将来に胸を膨らませていました。

**千葉大学助教  
JSTさきかけ研究員  
矢守 航(37期)**

「科学者・教育者を志す人へ」と題し、遺伝子改変技術や植物工場など、植物科学の最先端研究を



ご紹介していただきました。地球温暖化から植物の光合成に至るまで、植物に関する様々なお話が生徒の関心を惹いていました。

手品や虹色のバラを使ったお話には皆が喜んで聴き入っていました。とにかく自分が面白いと思うことを見つけ、人がやらないうようなことを考え、追究してほしいとのことでした。

また、良き指導者になるための心構えも語っていただきました。夢や目標をもつことの大切さと、小さな達成感の積み重ねがそこにつながるのだという言葉は生徒への励みになったと思います。

**三重県総合医療センター  
救命救急センター、看護師  
白木由華(47期)**



小学生の頃から看護師に憧れを持ち、夢を実現していく過程や学生時代の実習のこと、今現在の職場での様子をお話して頂きました。

命に係わる仕事だけに入院中の患者のあらゆる処置にダブルチェックという複数人での確認を怠らないことなど、ミスの許されない仕事である緊張感がとても伝わってきました。

在校生に向けては、ご自身の経験の下、人と積極的にコミュニケーションをとることで「勉強も部活も最後までやりきってほしい」という熱い言葉を頂きました。また、生活のリズムの大事さを教えて頂き、生徒も卒業までの過ごし方を考えるよい機会になりました。

**株式会社マイファーム大  
学校事務部  
磯川麻里(44期)**



「自然」「農業」「教育」「海外」をキーワードに、青年海外協力隊に参加したアフリカ(ウガンダ)での生活や経験を交え、自分の歩んできた道を振り返りながら、現在の職業に至った経緯を「自分を生きる」と題して講演されました。

特に、日本の生活の中では体験することがないような画像や、目にしたことのない風景を見せられ、海外への興味関心が大きくなりました。

した。

在校生に向けて「ぶれないキーワードをもち、意志をもって行動することが大切である」という熱いメッセージを残し、自分自身を見つめ直す良い機会となりました。

**Yahoo株式会社  
エンジニア、デザイナー  
水谷真樹(48期)**



「学生時代にできること」と題し、大学卒業までの5年間に何があるのか、何を準備しておくのかなのか、学生時代に何ができるのかを、自らの経験を交えて、ご講演いただきました。

「受動的では何も入ってきません。能動的に動きましょう」「尻込みをしない」「身の程をわきまえない」など力強いアドバイスは、在校生にも良い刺激になったのではないかと感じました。

また、検索サイトY A H O Oには、一日19億件・1秒あたり2万2000件のアクセスがあるなど、具体的な数字を挙げて、今日の情報社会やインターネットビジネスに関しても、興味深く語っていただきました。

# 進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス（内、数理コース2クラス）の合計37名でした。進学者数は292名（内男子121名）で、全体の92.1%が進学しました。残りのうち、7.9%は浪人生です。数理コースは卒業生の57.5%が国公立大学に、38.8%が私立大学に進学しています。学年全体の国公立大進学者の35.9%が数理コースで占められています。

国公立大学の延べ受験者数は371名、合格者数は128名、入学者数は110名です。合格率は34.5%（入学率は85.9%）で、国公立4年制大学の現役生と過年度生合計合格者数は141名でした。

現役生の主な国立大合格校は、難関大では大阪大(3)、名古屋大(4)、東京工業大(1)、神戸大(1)、広島大(1)となっています。ついで、東京学芸大(1)、東京芸術大(1)、金沢大(4)、名古屋工業大(7)、三重大(30)、信州大(3)、静岡大(5)などとなっています。公立大学合格校は、首都大東京(1)、横浜市立大(1)、都留文科大(1)、名古屋市立大(4)、京都府立大(1)、大阪府立大(1)、大阪府立大(1)などとなっています。

学部別の特徴では、工学部系統

の合格者比率が28.9%（昨年37.8%）と最も多く、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。

次いで、教育学部系統の17.2%（昨年6.3%）がこれに続きます。全国的に志願者が減少している教育学部系統で志願者が大幅に増えたのが、今年の本校の大きな特徴といえるでしょう。さらに、経済・商学部系統の13.3%（昨年14.4%）、文学部系統の10.2%（昨年13.5%）と続きます。また、全国的に資格系学部部に志願者が集まる傾向があり、本校でも看護学部系統の合格者比率は5.5%（昨年6.3%）と人気を集めています。一方、2年連続で大きく志願者を減らしたのは、法律・政治学部系統で、合格者比率は0.8%（昨年3.6%）でした。全国的な傾向と同様、不人気傾向となっています。

国公立大学は教育、就職環境に優れるため、多くの生徒が全国的な視野を持って国公立大の受験校選択をおこなっています。今年度は旧課程最後の入試ということもあり、全国的に安全志向が働いた出願となり、本校においても前期日程から幅広く志望校を考え、中・後期日程においても2次学力を考慮しながらの慎重な出願を行いま

した。卒業式を終えた後も小論文指導や面接指導などの2次対策に登校し、最後まであきらめず中・後期日程まで粘り強く受験することで合格を得られた生徒も多かったです。

私立4年制大学の延べ受験校数は1794校、重複を除く受験者数は297名でした。平均併願校数は6.04校（昨年5.88校）と増加し、一人あたりの受験校数は年々増加しています。受験者動向については、一般後期、センター利用後期の各日程でそれぞれ受験者数が減少しましたが、一般入試前期日程の受験者数が延べ889人（昨年延べ864人）、センター利用前期日程で、延べ774人（昨年延べ684人）とともに増加しています。特にセンター利用前期日程の受験者は大幅な増加となっています。こうした前期日程での志願者数・平均併願校数の増加は、旧課程最後の入試ということもあり、前期日程で私立大学を1つは確保したい、という安全志向が働いたものと考えられます。学部別合格状況は、やはり工学部系統が25.4%と最も多く、ついで、文学部系統(20.6%)、経済・商学部系統(12.7%)と続きます。文学部系統の中には、文学部教育学科も含まれており、今年の本校の特徴である教育学部系統への志望者増と相まって合格者数が増え

ました。国公立大の傾向と数字的な違いはありますが、学部・学科の多様化により、系統分類が煩雑になっているため、校内での志望動向には大きな差はありません。工学部系の学部別志願者数を見ると、名城大が158人（昨年156人）と安定した人気です。一昨年に工学部を新設した中京大が70人（昨年56人）とこれに続きます。昨年志願者を減らした愛知工業大が60人（昨年38人）と数を増やし、一昨年を上回る受験者数となりました。中部大も2年続けての増加で、受験者は51人（昨年38人）となり、志願者数は2年前の約6倍となっています。地元志向が強く、私立大の受験校を通学可能な中部圏の大学にシフトしてきたことが1つの要因と考えられます。南山大学理工学部は2015年4月にキャンパス統合を行い、瀬戸キャンパスから名古屋キャンパスへと移転します。立地条件が志願者の増減に大きく影響することを考えると、通学の利便から志願者数が大幅に増えることも考えられます。

大学別の受験者数をみると、中部圏では名城大255人（昨年222人）、中京大182人（昨年208人）の受験者数が多く、中京大は昨年より受験者数を減らしたものの根強い人気を持っています。次いで、南山大149人（昨年107人）、中部大123人（昨

年76人）、愛知淑徳大82人（昨年60人）、愛知大77人（昨年73人）と続きます。関西圏では立命館大104人（昨年129人）、同志社大42人（昨年34人）、近畿大35人（昨年30人）が受験者数上位校です。

年々、保護者進路説明会への参加者が増えてまいりました。保護者の方の進路指導への関心の高まりを感じます。その期待に応えられるよう、今後も邁進していききたいと考えております。先輩諸氏のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。

（進路指導部 稲垣良二）



## 平成26年度 総会及び懇親会



【日時】平成26年8月9日(土)

【会場】四日市都ホテル 3F 朝明の間

■午後2時より理事会

■午後3時より総会・懇親会

■会費 社会人2,000円、学生無料

■今年度の総会では、三重県教育委員会委員長の岩崎恭典様をお迎えして、三重の教育事情についてご講演頂きます。また、懇親会では23期生ならびに53期生の担任の先生方など懐かしい方々をゲストにお迎えする予定です。ぜひ、総会及び懇親会に足をお運びください。

## 第6回 四日市南高校東京同窓会

【日時】平成26年10月4日(土)

【会場】三重テラス 1F レストラン

東京都中央区日本橋室町2-4-1

浮世小路千正屋ビル YUITO ANNEX 1F

■16時30分受付

■17時～20時

■会費6,000円(学割3,000円)

【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより、第6回四日市南高校東京同窓会の参加申し込みフォーマットよりお申し込みください。

【問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期 山路みのるまでお願いします。

TEL.090-3255-2644

### 同窓会役員

会 長	粕谷邦男	(2期)
副 会 長	田中 正	(2期)
	山路 熟	(14期)
	鈴木正司	(17期)
書 記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
	今村健治	(5期)
会 計	小柳秀樹	(20期)
	石原正敬	(29期)
	小寺了俊	(9期)
会計監査	浦田 治	(19期)
【学校側】		
顧問	田中真司	学校長
会計	佐藤三重	事務次長
理事	稲垣良二	教諭
	川崎千佳子	〃
	西 綾	〃
	服部圭一	〃
	廣田育男	〃
	藤波 厚	〃
	村野玉紀	〃

【連絡先】  
〒510-8562 四日市市大字日永字岡山4917  
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局  
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549  
http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp

## 第2回 四日市南高校同窓会ゴルフ大会のご案内

四日市南高校同窓会では、第2回ゴルフ大会を開催します。

【日時】平成26年10月9日 木曜日

【場所】名四カントリークラブ 四日市市山之一色町1760

※詳細は同窓会HPに掲載します。

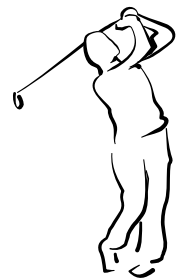
【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより第2回ゴルフ大会の申し込み用紙(PDF)をプリントアウトし、FAX (059-359-3021)でお申し込みください。

【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期 山路みのるまでお願いします。

TEL.090-3255-2644



事務	情報	美術	英語	理科	数学	【転入】	事務	英語	保体	美術	理科	数学	情報	教頭	【転出】	英語	理科	【退職】
座安麻美	柴原清成	廣田光司	服部圭一	倉田泰之	川崎千佳子	【前任校等】	渡邊章人	伊藤 智	渡邊真佑子	松葉直子	小林史典	北村亜衣	杉野信行	山添欣一	田中容子	大平善朗		
農林水産部みどり共生推進課	伊勢高校	昂学園高校	神戸高校	神戸高校	四日市西高校		紀南高校	伊賀白鳳高校	川越高校	久居高校	昂学園高校	上野高校定時制(教頭)	桑名高校					
							北勢流域下水道事務所											

## 教職員異動

平成二十六年(敬称略)